

投稿論文の書き方 と 論文投稿のマナー

日本文化政策学会
編集委員会

査読者の声

- 日本語の推敲が足りていない論文
- 研究の目的・意義や論旨が明快でない論文
- 理論的概念を使いこなせていない論文や必要以上に理論を持ち出している論文
- 複数の論点をまとめきれていない、統一性を欠く論文
(たとえば理論的検討と具体的な事例分析)

投稿論文の書き方

学術論文 ≠ 読み物

○ 研究成果の正確な伝達

文法上の正確さ：主語-述語関係、一文一意
十分かつ最小限の表現

✗ 感動的な文章・美しい文章

表現上のテクニック：体言止め、倒置、隠喩
一般的でない表現：特殊な漢字、カタカナ語

表現上の留意点

✗ ~だ。

○ ~である。

✗ ~であると思う。

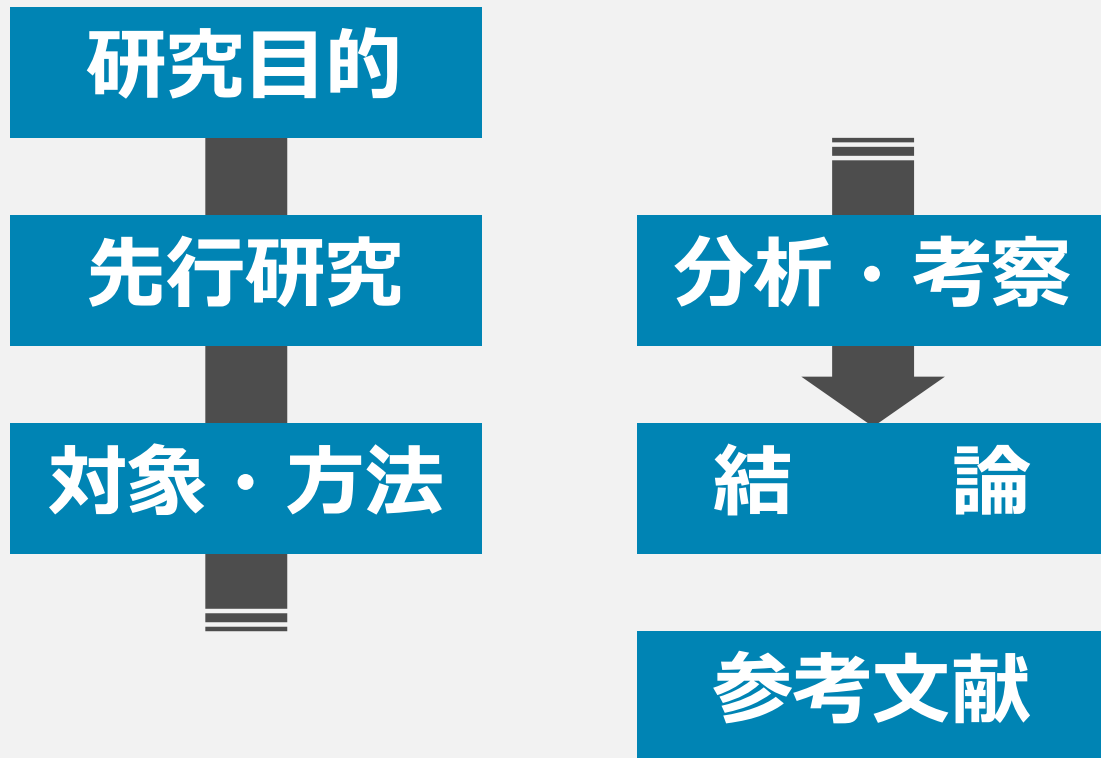
○ ~である。

✗ ○とは何だろうか。
それは△である。

○ ○とは△である。

✗ 3. ○×□
本章では○×□について述べる。○×□は、

○ 3. ○×□
○×□は、・・・



研究目的

= 学術論文が成立する要件

8

先行研究

背景、問題意識、先行研究を踏まえた的確な目的設定が必要

対象・方法



興味があるから

or

誰もやっていないから

分析・考察

結論

先行研究で

明らかにされていない

and

それを明らかにすることに意義が見出せる

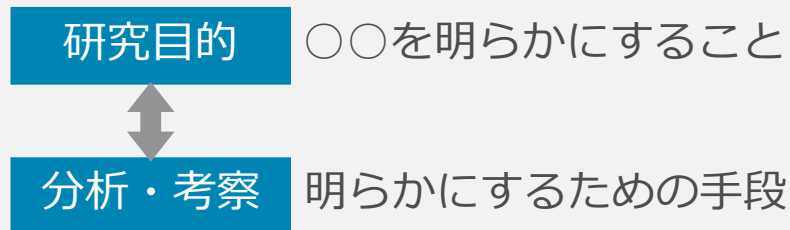
参考文献



「考察・分析」は目的になるか？

9

- ✗ 本論文の目的は、△△を**考察**することである。
本論文の目的は、○○**分析**を行うことである。



研究方法に意義がある研究

- 分析を行うことで、その意義を明らかにする。
- 分析の利点・欠点を明らかにする。

「提言」は目的になるか？

10

- ✗ 本論文の結論として、○○することを提言する。

良い研究

≠

良い提言

良い治療法

≠

最先端の研究成果に
基づく治療法

- 本論文の研究の結果、○○という提言が妥当であることが**明らか**となった。

「提言」を行うために必要な
「新たな発見」が目的

研究目的

自分の研究を、
取り組む研究分野の中に位置づける

先行研究

≠ 単なる参考文献の紹介

設定した「研究目的」に関連して、
他の研究者が、何をどこまで
明らかにしているのかを把握する

対象・方法

分析・考察

結論

参考文献



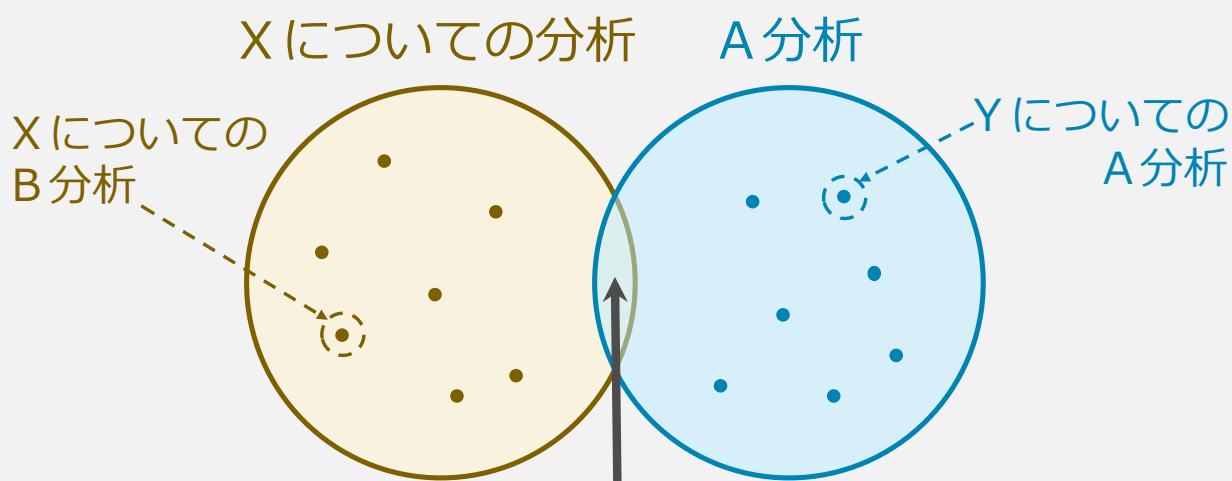
論文の執筆者が、そのことを
どの文献で知ったのかを伝える



そのことを、世の中で最初に
明らかにしたのは誰か
を説明する

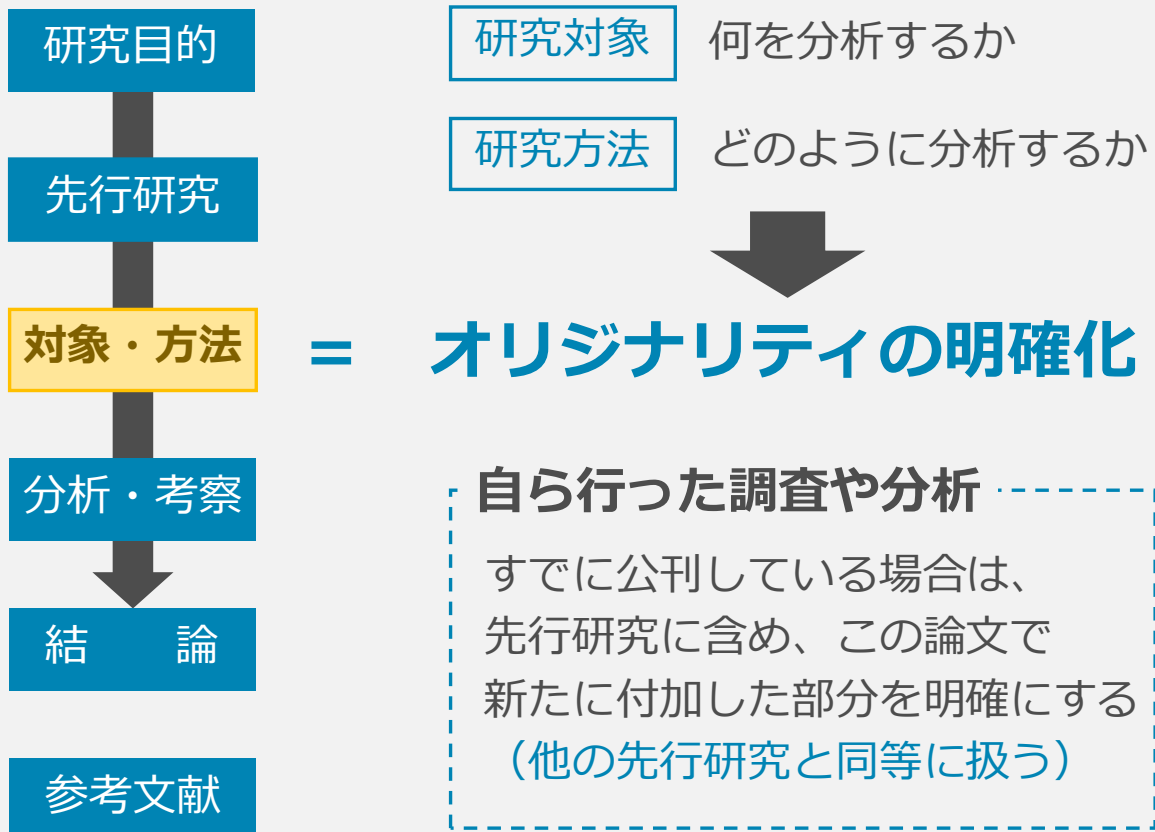
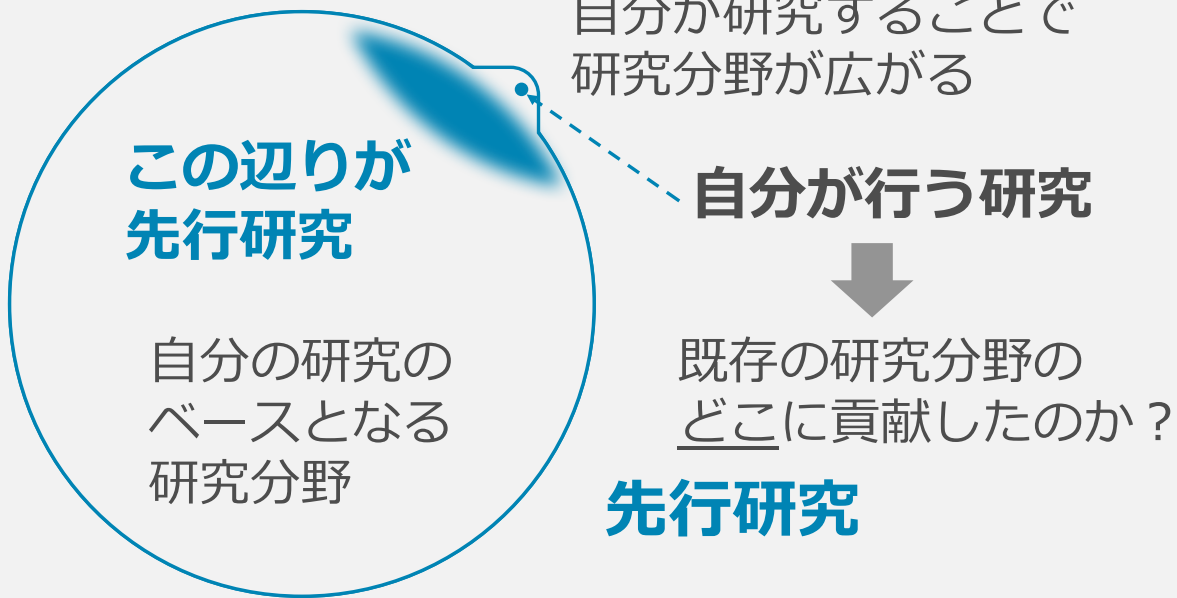
先行研究が存在しない？

すべての研究には先行研究が存在する。



XについてのA分析は存在しないかもしれないが、
XについてのB分析やYについてのA分析は
存在するかもしれない。

すべての研究には先行研究が存在する。



研究目的

先行研究

対象・方法

分析・考察

結論

参考文献



調査等によって、
わかったことを
すべて書き並べる



研究の経緯や今後の
予定、感想など、
著者の私事を書く



「研究目的」に答えを
出すために**必要不可欠**
な最小限の記述

研究目的

先行研究

対象・方法

分析・考察

結論

参考文献

調査等で得られた
結果の列挙



単なる意見表明



対応していることが重要

= **研究目的**に対して
得られた**答え**



研究目的

✗ 研究するにあたって参考にした文献

先行研究

✗ その分野での必読文献

対象・方法

○ 論文の中で言及されている文献

分析・考察

論文の中で一度も触れられていない文献は、参考文献一覧の中に並んではならない

結論

参考文献

アブストラクト（要旨）を書く

研究目的

○ 研究目的、対象・方法、結論等を要領よくまとめ、論文の全体像が分かるようにしたもの

先行研究

アブストラクト

対象・方法

+

分析・考察

イントロダクション

結論

✗ 本論に入りやすくするため背景などを述べた導入部

論文投稿のマナー

そもそもあってはならない行為

20

剽窃

他人の文章やアイデアを無断利用する

二重投稿

同じ内容の論文を2誌以上に投稿する

同一テーマを扱った論文というだけであれば、その論文に対する言及があってよいはず

念入りな推敲を！

論理の展開は正しいか？

結論に不要なことが書かれていないか？

日本語として正しいか？

書いてから少し時間をおいて読みなおす

可能であれば他者によるチェック

「修正報告書」

査読者に対して、どのような趣旨で、

何をどのように修正したのか、

あるいはしなかったのか

をわかりやすく伝える

個々の指摘に対して、
ひとつずつ回答するのがベスト

終わりに

「読まれる」ことを意識する

24

- 論文は「読み物」ではないが、
他者に読まれる文章にかわりはない
- 読者に対する配慮は必要
- 内容を正確かつ分かりやすく伝える
- とくに査読者の負担に配慮する

ほとんどのケースで、多忙な研究者がボランティアで対応している